

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から2か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

嬉しいときも悲しいときも、人はうたうことで自分の心情を表現してきました。皆に愛され定番となったうたは、時代を超えて私たちの胸を打ちます。ここではさまざまな「うた」についての本を集めてみました。

テーマ：うた

▶リストの見方

No.	書名 (あれば巻号) 著者名(出版者, 出版年) 【調べものの部屋請求記号】	【 】の中は、調べものの部屋のどこにあるかを示す請求記号 (日本十進分類法を使用) です。
-----	---	---

▶新生活へ向けて

1	井伏鱒二全集 第28巻 井伏鱒二 著 (筑摩書房, 1999) 【913.6-イブ】	「「サヨナラ」ダケガ人生ダ」。『厄除け詩集』から名訳と名高いうたをご紹介します (p.47)。もとは漢詩「勸酒」(于武陵 作)で、調べものの部屋では『NHK新漢詩紀行 友愛深厚篇』【921】等で他の訳が読めます。両方を読み比べてみませんか。
2	短歌の詰め合わせ (ことばアソート) 東直子 文, 若井麻奈美 絵 (アリス館, 2019) 【911.1】	食べ物、動物などテーマに沿って短歌を集めた本から、この季節にぴったりのうたをご紹介します (p.146)。春休みの川にボートを出した学生2人の初々しい情景です。

▶うたで旅をしよう

3	歌枕辞典 廣木一人 編 (東京堂出版, 2013) 【911.1】	「歌枕」とは古来、和歌に詠まれてきた地名です。景勝地というだけでなく、その名前に寄せる人々の思い、たとえば恋の思いなどが長い間蓄積されてきた土地です。全国各地の歌枕を本の中で巡って、イマジネーションの広がりを感じてみましょう。
---	--------------------------------------	---

▶平和を祈るうたごえ

4	永井隆：平和を祈り愛に生きた医師 中井俊巳 著 (童心社, 2007) 【210.7】	長崎の原爆で自ら被爆しながら被爆者救護に尽くした永井隆博士。博士が原爆被害を記録した『長崎の鐘』はベストセラーになり、同名の歌謡曲も作られて人々を勇気づけました。この伝記で改めて、平和を願い続けた博士の生涯をたどってみませんか。
---	--	--

▶不可思議なうた

5	伝え残したい童謡の謎ベスト・セレクション 合田道人 著 (祥伝社, 2014) 【909】	「うれしいひなまつり」の作詞家がこの詩を嫌がった理由とは? 「花かげ」で嫁ぐ姉を泣いて見送る弟は20歳?! 今も愛唱される童謡に秘められた謎を読み解きます。
6	化物で楽しむ江戸狂歌：『狂歌百鬼夜狂』をよむ 江戸狂歌研究会 編 (笠間書院, 2014) 【911.1】	通常の和歌と異なり、おかしみのある狂歌。天明5年、百物語に倣って化物を題とする狂歌を百首詠み、怪異を起こしてみようという仲間が集まりました。このドキドキワクワクの夜明かし会の記録が、化物の解説と挿絵、語釈入りで楽しく読めます。

▶動物たちもうたう

7	言葉はなぜ生まれたのか 岡ノ谷一夫 著, 石森愛彦 絵 (文藝春秋, 2010) 【481.7】	言葉の起源を探るこの本でジュウシマツのうたに言及しています (pp.39-64)。オスのうたは個体により異なり、うたが複雑であるほどメスをひきつけられます。このうたは「単語」に分けられ、それを規則的に並び替えることでより複雑になるのです。人間の言葉における文法のように、ジュウシマツのうたにも「文法」がありました。
8	鯨：海のさまざまな哺乳類たちの世界を探る (ビジュアル博物館；第46巻) フランク・グリーンナウェイ 著, リリーフ・システムズ 訳 (同朋舎出版, 1994) 【489.6】	鯨をはじめとする海の哺乳類についてイラスト付きで解説したこの本には、彼らのうたも紹介されています (pp.26-27)。マッコウクジラ同士が出会ったとき、互いに交わす挨拶。オスのザトウクジラがただ一頭で漂いながら、何時間もうたい続ける愛のうた。海の哺乳類の生活にも、うたは欠かせないものです。

▶「うた」にチャレンジ!

9	歌と身体メカニズム = A study of the relationship between body and singing : 自然で美しい声を求めて 石野健二 著 (アルテスパブリッシング, 2020) 【767.1】	歌い手の身体に無理のない自然で美しい声のための発声法を伝授する本です。発声のメカニズム、トレーニング方法、歌唱への応用法を図を多用して具体的に解説しています。
10	短歌をつくろう (岩波ジュニア新書；669) 栗木京子 著 (岩波書店, 2010) 【911.1】	多くの短歌を取り上げてやさしく解説するとともに、標語に下の句を付けたり、物語やレシピを短歌に翻訳したりと、短歌が自作できるように楽しく手引きしてくれます。実は<2>でご紹介したボートのうたは、この本の著者の大学生時代の作です。